

## 第4 1回全日本少年軟式野球長崎県大会 実施要項

- 1 主 催 長崎県軟式野球連盟
- 2 主 管 長崎県軟式野球連盟東彼杵支部（東彼杵軟式野球連盟）
- 3 協 賛 マルエス株式会社
- 4 会 期 令和6年5月5日(日)、6日(月・祝)、11日(土)  
※参加チームが16チームを超えない場合は、5月5日は行わない。  
※悪天候により日程を順延する場合、日程・会場は県連と主管支部が協議の上決定する。  
※チームの意向は反映されないため、設定された日程及び会場で出場できないチームは、  
棄権とする。
- 5 会 場 A 波佐見鴻ノ巣公園グラウンドAコート B 波佐見鴻ノ巣公園グラウンドBコート  
C 東彼杵町町民グラウンド
- 6 参 加 チ ー ム 2024年度に長崎県軟式野球連盟に登録された少年チームで、各支部代表1チームとする。  
但し佐世保支部は2チームとし、参加総数が16チームに満たないときは開催地枠を認める。
- 7 出 場 資 格 チーム編成は、監督、コーチ2名以内のほか、選手は主将を含め9名以上25名以内で  
構成し、スポーツ安全保険等に加入していること。
- 8 適 用 規 則 2024年度公認野球規則、競技者必携に記載の項目及び別に定める特別規則を適用する。
- 9 大 会 規 律 不正出場、その他規律違反については、(公財)全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
- 10 使 用 球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球 M号球(マルエスボール)を使用する。
- 11 参 加 申 込 各支部代表チームは、所定の参加申込書(エクセルデータ)に必要事項を正確に記入し、  
所属支部を經由して2024年4月22日(月)までに主管支部へE-Mailで提出すること。  
※選手欄は、監督・主将以下、その他の選手は背番号の若い方から記入すること。  
※参加申込書提出後は、選手の追加、変更及び背番号の変更は一切認めない。
- 12 組 合 せ 抽 選 組合せ抽選会は、参加申込書提出期限の翌日に主管支部役員により代理抽選を行う。
- 13 参 加 料 18,000円 大会第一日目の会場本部で試合前に打順表と交換で納入する。
- 14 監 督 会 議 行わない。
- 15 開(閉)会式 開会式は行わない。閉会式は大会最終日の決勝戦終了後に表彰式と兼ねて行う。
- 16 表 彰 優勝チームに賞状と優勝盾を授与し、長崎県代表として九州大会の出場権を与える。  
九州ブロック大会 6月29日～30日 熊本県  
全 国 大 会 8月11日～15日 神奈川県
- 17 旅 費 宿 泊 費 本大会に参加するための旅費・宿泊費は、すべてチーム負担とする。
- 18 そ の 他 チームの責任は、チーム代表者または責任者において、責任を負うものとする。  
大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置を施すが、それ以外の責任は負わない。
- 19 連 絡 先 本大会についての問い合わせ先・参加申込書提出先  
東彼杵軟式野球連盟 事務局 立山 裕次 TEL 0957-47-0373  
(携帯) 090-8837-2632  
E-mail tateyama.yuuko@white.plala.or.jp

## 【競技運営に関する注意事項】

- 1 出場チームは、必ず背番号（0番から99番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番・28番）及び左袖に県名をつけること。（都市名は不可）
- 2 組合せ番号の若番を1塁側とする。
- 3 登録原簿に名前があっても打順表に記載されていない者は、その試合の出場は認めない。
- 4 打順表の提出は、その日の第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は前の試合1時間経過時とし、審判員立会いの下、攻守を決定する。（打順表は本部で用意します）
- 5 木製バット以外は、（公財）全日本軟式野球連盟公認バットであること。
- 6 捕手は、危険防止のため（公財）全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク（スロートガード付き）プロテクター・レガース・ファウルカップを着用すること。  
攻守交代等で捕手が用具着用中に、控え選手等が準備投球を捕球する際は、捕手に求められる用具を全て着用していない限り、立って捕球すること。
- 7 打者・走者・次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。

## 【試合方法】

- 1 トーナメント方式の7回戦とする。
- 2 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。（決勝戦を含む）
- 3 5回を完了して、降雨等で試合が継続できない場合もコールドゲームを適用する。  
ただし、5回を未完了または完了しても同点の場合は、再試合とせず特別継続試合とする。  
特別継続試合でのコールドゲームもある。
- 4 大会運営上、準々決勝までは回数にかかわらずに試合開始から1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。
- 5 時間の区切りは、1時間30分に到着した時点で先攻チームが勝っている場合は、その裏の回まで行う。  
後攻チームが勝っている場合は、その攻撃中の打者が打撃を終了した時点で試合を打ち切り、  
先攻チームが攻撃中のときはその回の終了までとする。
- 6 準々決勝戦までは7回を終了して、または制限時間を超えて同点の場合、2回を限度にタイブレーク方式で決着をつける。それでも勝敗が決しない場合は、最終回出場選手9人による抽選で勝敗を決める。
- 7 準決勝戦・決勝戦は7回を終了して同点の場合は、投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を継続する。
- 8 投手の投球制限は、肘・肩の障害防止を考慮し、「1日100球」までとする。
- 9 その他必要に応じて、（公財）全日本軟式野球連盟・長崎県軟式野球連盟の競技規程を適用し、適宜に処理する。